

連携自治体紹介兼体験プログラムシート

自治体名	岩手県住田町（すみたちょう）
自治体の概要 主な特色 PR ポイント	<p>岩手県南東部の山間に位置し、太平洋沿岸部の大船渡市、陸前高田市とともに「気仙地域」と呼ばれます。北上高地の山々に四方を囲まれ、その合間を流れる気仙川とその支流沿いに集落や耕作地が営まれています。内陸と沿岸をつなぐ交通の要衝で、かつては宿場町として栄え、現在も当時の町割りが残ります。奥州藤原氏の時代から産金地でもありました。</p> <p>東西約 31 km、南北約 19 km、面積は 334.8 km²で、その 90%が森林です。豊富な森林資源を活用した林業や少ない耕地を集約させ、複合経営による農業、豊かな自然環境下で育てる畜産（養豚・養鶏）が主要産業です。特に林業は、「森林・林業日本一のまちづくり」をスローガンに掲げ、基幹産業として位置付けています。役場庁舎等の公共施設には町産材を多く利用するとともに、木質バイオマスの活用や J-VER クレジットの発行など、脱炭素社会に向けて積極的に取り組んでいます。</p> <p>人口は 4,793 人、世帯数は 2,073 世帯（令和 6 年 1 月現在）です。</p> <p>特産品：鶏ハラミ、銘菓（「かつこう」「鮎もなか」「火縄せんべい」「ゆべし」） 観光・レジャー：種山ヶ原、五葉山、滝観洞、鮎釣り</p>
アクセス方法	<p>東北新幹線：東京駅－水沢江刺駅（片道約 160 分、往復料金：約 28,000 円） レンタカー：水沢江刺駅－町中心部（片道約 50 分、2 日分料金：約 20,000 円）</p>
主な地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ・住田町に合併した昭和 30 年(1955 年)の 13,121 人をピークに、人口は一貫して減少しています。 ・年少人口（0～14 歳）、生産年齢人口（15～64 歳）は年々減少し、老年人口（65 歳以上）は平成 17 年(2015 年)まで増加し以後減少しています。 ・年少人口、生産年齢人口の割合は年々減少し、老年人口の割合（高齢化率）は増加傾向にあります。 ・農家数、林家数、商工業関係の事業所、従業者数も減少傾向である。 ・関係人口の増加、都市部からの若年層の移住や企業等の参入（サテライトオフィス開設）、などに取り組んでいる状況です。 ・医療機関、商業施設の少なさ、交通機関の不便さも弱みとなっています。
受入時期	8 月下旬～12 月中旬



連携自治体紹介兼体験プログラムシート

ワーケーション プログラム内容

右記のプログラムから、泊数に応じてご希望の内容を組み合わせて実施させていただきます。

●住田の林業を体験

基幹産業である林業や森づくりについて、木造公共施設や工場の見学、事業者との意見交換、簡単な作業、等を体験します。

(所要時間 360 分、コーディネート料 55,000 円)



●森林を育む住田の自然を体験

各種、森林を支える豊かな自然を体験します。

・種山ヶ原散策

宮澤賢治も愛した種山ヶ原（標高 870m）をガイドと共に散策します。

(所要時間 120～240 分、ガイド料 8,000 円～)



・滝観洞探検

気仙川の源流にある鍾乳洞を探検します。通常とは異なるルートを歩く冒険コース（ガイド付き）もあります。

(通常コース 1,100 円、冒険コース 3,000 円、探検コース 12,000 円)

・気仙川砂金採り体験

気仙川に入り砂金を見つけます（天然の砂金のため、必ず採れるとは限りません）。

(所要時間 90～120 分、ガイド料 8,000 円～)

※産金文化のガイドも可能です。

●その他

・震災学習

イコウエルすみだ展示棟にて、東日本大震災時、住田町が行った後方支援やコミュニティ支援の様子を学びます。

(所要時間 60～90 分、ガイド料 3,000 円～)

【宿泊】

町内にホテル、旅館、民泊、ゲストハウスがあり、1泊（朝食付）で 10,000 円/人程度です。

【ワーキングスペース】

イコウエルすみだ、まち家世田米駅があり、共用スペースは無料です。

(イコウエルすみだには個室（有料）があります)

上記以外の体験プログラムもご要望に応じてコーディネートできます。

町民や自治体職員等との交流会については別途コーディネートさせていただきます。

(全体コーディネート料：55,000 円（事前打合せ、連絡調整、等含む))

※上記所要時間、料金（税込）は一例で、ご要望や実際の参加人数等に応じます。

主な対象事業者

業種問わず

受入上限数

10 人程度

連携自治体紹介兼体験プログラムシート

事業者に期待すること	<p>ワーケーションで体験した町の特産品や観光地の PR に協力していただきたい。</p> <p>ワーケーション参加後も、町の関係人口として交流、つながりを維持していただきたい。</p> <p>町で示した課題以外にも、地域課題を発見していただき、解決に向けて協働、共創してほしい。その取り組みの中で、サテライトオフィスの開設も検討していただきたい。</p>
留意事項	<p>町内での移動はレンタカーをご利用ください。</p> <p>移動中や体験プログラム参加中のケガ等に対応するため、旅行保険等の加入を推奨します。</p>